



首都圏でも死者

東日本大震災 建物被害相次ぐ



地震で死傷者が出た九段会館。11日午後3時36分、東京都千代田区、本社ヘリから、水野義則撮影

三陸沖を震源とする地震は、距離が離れた地域にも激しい揺れをもたらし、被害が相次いだ。

北海道によると、11日午後7時時点で、大津波警報が出ている太平洋沿岸を中心に根室市や函館市、広尾町など17市町で避難指示、苫小牧市や釧路市など15市町村で避難勧告が出て、1万1千人以上が避難した。

栃木県警によると、同県芳賀町下高根沢にあるホンダの施設「本田技術研究所四輪R&Dセンター」の12号棟で、設計フロアにいた従業員の菱沼正之さん(43)が倒壊した壁や天井に挟まれて死亡、他にも従業員14人がけがをした。

東京都千代田区九段南1丁目の九段会館では午後3時15分ごろ、天井が落下して壁が倒壊。警視庁などによると、50歳ぐらいの女性が死亡、42歳の女性が骨を折るな

ど約30人がけがを負った。建物は2.26事件で戒厳司令部が置かれ、歴史的な建造物として知られている。

東京都町田市小山ヶ丘3丁目の米国系大型量販店「コストコ多摩境店」では、店舗の駐車場に向かう2階部分のスロープが崩れ落ち、真下の1階部分のスロープを走行していた車3台が下敷きになった。警視庁によると、男女計2人が1台の車内に閉じ込められ、女性は意識がないという。

横浜市では、西区のビル8階に入るボウリング場「ハマボール」でレーン付近の天井が落下した。神奈川県警によると、施設は満員で約120人の客がおり、9人が下敷きに。3人が頭などにけがを負った。また、観光名所で知られる首都高速湾岸線の横浜ベイブリッジでは、下部にある連絡通路が倒壊する恐れが出ているという。